

第61回栃木県公衆衛生学会の会場別演題

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

第1会場 (疫学・保健医療情報、生活習慣病・メタボリックシンドローム、親子保健・学校保健)

No.1～No.2 座長 小沼 一郎 (一般社団法人栃木県医師会副会長)

No.3～No.5 座長 阿江 竜介 (自治医科大学教授)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	栃木県における医療費等の状況についての考察	高沢 亮	栃木県保険者協議会	生活習慣病・メタボリックシンドローム		13:35
2	県内の「接骨院・整骨院」を訪れた膝痛患者の分析	鈴木 勝仁	栃木県柔道整復師会	疫学・保健医療情報		13:45 13:55
3	胸部X線画像AI読影支援システムの構築について	岩崎 恭平	栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム		14:00
4	カテゴリーマップ一致度係数(MapCurves法)による空間相関分析の試み—地域診断への応用を目的として—	羽金 和彦	宇都宮市保健所	疫学・保健医療情報		14:10
5	令和4年度における脊髄性筋委縮症および複合免疫不全症を対象とした臨床研究事業の実施状況報告	尾熊 朋子	栃木県保健衛生事業団	親子保健・学校保健		14:20
⑥	若年健常者を対象とした緑茶摂取による生活習慣病予防効果—終末糖化産物(AGEs)を指標とした検討—	高石 雅樹	国際医療福祉大学	生活習慣病・メタボリックシンドローム		
⑦	企業における個別保健指導について	鈴木 恭子	日光市健康課	生活習慣病・メタボリックシンドローム		
⑧	メタボリックシンドロームの予防・改善を支援する3・3講座(3か月で-3kg)の取組み	小室 文音	とちぎ健康福祉協会	生活習慣病・メタボリックシンドローム		

第2会場 (保健所・衛生行政・地域保健、感染症、難病・障害の医療と福祉、親子保健・学校保健)

No.1～No.3 座長 渡辺 晃紀 (県北健康福祉センター所長)

No.4～No.5 座長 内山 浩志 (獨協医科大学准教授)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	多職種・多部門と連携した、新型コロナウイルス感染症流行時における保健所業務の支援に係る動員者の研修の有用性と課題	小篠 智江	栃木県保健環境センター	保健所・衛生行政・地域保健		13:35
2	安足健康福祉センターにおける新型コロナウイルス感染症対応 ～OODAループを用いた振り返り～	若林 知美	栃木県安足健康福祉センター	感染症		13:45
3	新型コロナウイルス感染症の入院調整からみた地域包括ケアシステムの課題	奥山 啓子	栃木県県南健康福祉センター	感染症		13:55 14:05
4	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対応力向上のための取組と保健所の役割	舟迫 香	栃木県県北健康福祉センター	感染症		14:10
5	災害時個別支援計画作成における関係機関との連携の重要性	桜井 万弓	栃木県県北健康福祉センター	難病・障害の医療と福祉		14:20
⑥	保健所の感染症対応への受援にかかる流行状況を予測する簡易モデルの考案と検証	中村 剛史	栃木県県南健康福祉センター	保健所・衛生行政・地域保健		
⑦	県南圏域における医療的ケア児に係る「圏域の協議の場」での取組	宮古 真奈美	栃木県県南健康福祉センター	難病・障害の医療と福祉		
⑧	学齢期における学校での肥満指導について ～フォローアップ事業～	藤井 美穂	日光市健康課	親子保健・学校保健		

第3会場 (感染症、ヘルスプロモーション)

No.1～No.3 座長 塚田 三夫 (参事兼県西健康福祉センター所長)

No.4～No.5 座長 永井 伴幸 (栃木県薬務課長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	県南保健所で経験した喀痰塗抹陽性患者2事例から考える保健所の結核対策について	上野 和沙	栃木県県南健康福祉センター	感染症		13:35
2	県南保健所の性感染症検査における梅毒の受検動向について	吉川 実里	栃木県県南健康福祉センター	感染症		13:45
3	安足健康福祉センターにおけるHIV・性感染症検査についての考察	石川 京美	栃木県安足健康福祉センター	感染症		13:55 14:05
4	栃木県内で検出されたSARS-CoV-2(新型コロナウイルス)の分子疫学解析【第二報】	関川 麻実	栃木県保健環境センター	感染症		14:10
5	栃木県内で検出されたエンテロウイルスの分子疫学	齋藤 明日美	栃木県保健環境センター	感染症		14:20
⑥	関係機関との連携による高齢化集落巡回相談・講座事業について	佐久間 浩美	日光市健康課	ヘルスプロモーション		
⑦	人生100年フレイル予防プロジェクト —各関係機関や団体等と連携したフレイル予防対策の推進—	池内 寛子	栃木県健康増進課	ヘルスプロモーション		

第4会場 (精神保健福祉、環境保健、その他)

No.1～No.2 座長 島田 達洋 (精神保健福祉センター所長)

No.3～No.5 座長 福士 宏樹 (栃木県環境保全課長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	精神疾患を持つ対象者へのクライシスプランの作成と活用を通して見えた成果と課題について	益子 真実	栃木県北健康福祉センター	精神保健福祉		13:35
2	栃木県矢板健康福祉センターにおける「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)」の取り組みについて	新井 香織	栃木県矢板健康福祉センター	精神保健福祉		13:45 13:55
3	ヒートアイランド現象が県民生活に及ぼす影響について	若色 孝子	栃木県気候変動適応センター	環境保健		14:00
4	中外製薬工業株式会社 品質改善プログラム「Q-Plan」の活動紹介	伊藤 亮太	中外製薬工業(株)宇都宮工場	その他		14:10
5	歯科治療器具生産として包装ミスの撲滅に向けた活動	塩入 睦紀	マニー株式会社 生産本部 国内生産1グループ	その他		14:20
⑥	湯ノ湖の湧水に関する研究	桐原 広成	栃木県保健環境センター	環境保健		